



【事業類型】設備投資のみ

株式会社 山二建具

事業テーマ

大型木製建具（ドア）を量産化するための 技術開発及び生産体制の構築

【対象類型】ものづくり技術



エッジバンダー



ランニングソー

●本事業への取組みの経緯・目的

最近の住宅や商業施設ではデザイン性が高く、開放感のある大型建具のニーズが高まっています。

木製建具は従来、室内における扉の大きさは175cm×80cm程度が大半でしたが住環境の変化に伴い扉高さは200～230cmが一般的な高さになってきました。また天井の高い建築物では240cm以上の建具も多くなってきています。

近年木製品が見直される中「室内の建具は木製を使いたい」とのエンドユーザーの声に対し大型フラッシュ建具を製造できる工場は、ほとんどなく、しかも製作するには手加工になる為納期やコストの面が課題となっていました。

●実施内容

新たに導入した2台の機械により今までの手加工の部分を自動化することが出来ました。また設備増に対応する為、工場全体のレイアウトの見直しを図りました。



一般的な扉と大きさの比較



都内共用キッチン入口の戸



都内オフィス会議室入口

事業実施の成果

建具側面に縁を貼ることは、加工面の長さが増える程、すべてを均一に接着することが難しくなりますが、いくつもの技術的課題をひとつずつ検証し、見直しを進めた結果、今回の設備導入によって一気に加工精度と生産スピードの向上の成果が得られました。

今後の展望

建築の多様化に伴い住宅メーカーや建築会社などから特殊寸法の製作問い合わせが増えてきています。

今まで背の高い大きな建具は建物の中でも中心的な入口にのみ採用されてきましたが、最近では物入れの戸も壁と同じように天井近くまで大きくして使われることも多く、一つの物件で大型の建具が採用される割合も増えてきました。

今後ますますこのような需要が高まると考えられます。

また、近年木製品が見直されてきている中、当社で開発した木製パーテーション「木づかいボール」が今年千葉県「ものづくり認定品」として認められました。

社長から一言



代表取締役社長 二村 淳彦

建築業界では木を使った建物が見直されてきています。

日本には木を生かす文化があるので木を無駄なく上手に使うことで、私たちも木製建具で貢献したいと考えています。少しでも、木の良さを伝えることが出来ればと考えています。



木づかいボール



千葉ものづくり認定品 認定式

企業データ

主な事業・業種	建具業
得意分野	木製建具製造
所在地	本社・事業実施場所： 〒270-2224 千葉県松戸市大橋160-4
TEL	本社・事業実施場所：047-391-6111
FAX	本社・事業実施場所：047-391-3983
設立	昭和50年7月
代表者	代表取締役社長 二村 淳彦
従業員数	16名
資本金	1,000万円
売上高	1億5,000万円（平成30年度）
URL	http://www.yamanidoor.co.jp
Email	a.nimura@yamanidoor.co.jp